

## 本県初となる救急隊を設置!

救急件数が増加傾向にあり、特に市内中心部は、管轄する救急隊の出動が重なる場合が多いため、11月4日から本部救急隊を発足しました。救急車の重複出動が多い、平日8時30分から17時15分の時間帯に活動することにより、現場到着の短縮や、さらなる救命率の向上などが期待されます。

これからも、皆さんの安全のため、救急体制の充実化に取り組んでいきます。



## 誕生花花壇がオープン!

約110種類の「宮崎市版・365日誕生花」を四季折々に楽しむことができる花壇と、誕生花を紹介するモニュメントが国際海浜エントランスプラザ(フローランテ北側)に完成。さわやかな秋空の下、オープニング式典でモニュメントの除幕を行い、楳北小学校の皆さんなどと協力しながら植栽を行いました。

一ツ葉地区では、2月8日(日)まで花回遊スタンプラリーも開催中です。この機会に、ぜひ宮崎の「花」の魅力に触れてみてはいかがでしょうか。

# Miyazaki Topics

宮崎市  
旬の話題 “みやとピ”



## 生目古墳群 DE フェスタ開催!

市制90周年を記念して、多くの謎を秘めた生目古墳群を舞台に多彩なイベントを開催しました。県内では初となる歴女コンテストが行われたほか、古墳シンガー「まりこふんさん」のライブでは、今回のイベントのために書き下ろした生目古墳群の歌も披露されました。

歴女コンテストでは、古代衣装を身に付けた歴史の好きな8人の女性が参加。文化財や日向神話を題材にすばらしい宮崎の歴史などをアピールしました。

## 秋の日向路を練り歩きました

11月1日・2日、「神武さま」の愛称で親しまれている宮崎神宮大祭が盛大に開催。ミスシャンシャン馬やアマテラスオオミカミの像がまちを練り歩いたほか、今年、新たにオオヤマツミノカミを加えた神々のパレードなどが祭りに華を添えました。

宮崎を代表する祭りを一目見ようと、県内外から多くの人が沿道に詰め掛けました。



昭和40年代の清武駅。現在の駅舎は、国鉄の民営化が始まった昭和62年に新築されたものです。

宮崎市制90周年記念  
みやざきタイムマシン

# 清武駅

昭和40年代



現在の清武駅

清武駅が開設されたのは、大正5年10月25日のこと。吉松(鹿児島県)と都城間に敷かれていた国の鉄道が、宮崎まで延長されたのに合わせて開設されました。

日本の経済成長が始まった昭和31年3月から、就職列車が発。清武中学校の卒業生は毎年数十名規模で、大阪や滋賀、愛知、岐阜などの繊維企業へ就職するため、旅立っていきました。高度経済成長期を支えた、いわゆる金の卵の物語は、ここ清武駅でも練り広げられていたようです。

昭和40年には、宮崎女子短期大学(今の宮崎学園短期大学)が開学。減り続けていた若者呼び込んで、学生の街へと変貌を遂げる転機になりました。清武駅とキャンパスの間にある坂道は、女子大生が行き交う華やかさから、周辺では「美人坂」と呼ばれるようになったそうです。